

村山総合支庁ニュース

—MuraSou News—

第198号 令和3年2月号 山形県村山総合支庁
発行元:総務企画部総務課総務係 TEL:023-621-8105



⚠️油断禁物⚠️

雪に十分ご注意ください!!



令和2年12月14日(月)から、県内は大雪に見舞われました。村山地域においてもこの大雪で倒木による道路の通行止めやパイプハウスの倒壊など、大きな被害が出ました。村山総合支庁では12月18日(金)に「村山総合支庁豪雪対策本部」を設置し、雪害防止対策の徹底を呼び掛けるとともに被害の把握と対処に努めています。

さらに、残念なことに今シーズンも雪下ろしや除雪作業中の事故により村山管内では85名の死傷者が出ています(2月1日時点)。村山管内における事故の約7割は高齢の方であり、さらにその約半数は屋根からの転落事故となっています。「慣れているから、自分の雪下ろし中に事故は起きない。」「屋根から落ちることはないから、ヘルメットも命綱も必要ない。」などと思いませんか?事故が起きると事前に分かっている人はいません。雪下ろしの際は、“万が一”に備えて必ずヘルメットや命綱を装着し、2人以上で安全に作業しましょう。また、屋根からの落雪や除雪機の使い方にも気を付け、安全な除雪作業を心がけましょう。



除雪作業や雪下ろし時の雪害事故防止について、村山総合支庁では管内市町と連携し、広報車による巡回等の啓発活動を行っています。県民のみなさまも事故が起きないように特に高齢の方に向けて、家族や地域で積極的に声掛けなどを働きかけていただきますようお願いいたします。

なお、県のホームページ「こちら防災やまがた!」には《安全な雪下ろしガイド》などを掲載していますので、是非ご活用ください。ホームページへは下記URLを入力、又はQRコードを読み取ってアクセスください。



URL【<https://www.pref.yamagata.jp/020072/bosai/kochibou/index.html>】

「ホームページTOP」→「防災情報」→「雪害」をチェック!!

(総務課防災安全室 TEL:023-621-8108)

こちら防災山形
QRコード

安全な雪下ろしのポイント

- ①気温が高い時は屋根の雪のゆるみに注意!
- ②ヘルメットを着用し安全な服装で作業しましょう!
- ③転落防止のため命綱を使いましょう!
- ④はしごはしっかり固定しましょう!
(足元も先端も。角度は75度に)
- ⑤使いやすい除雪道具を使いましょう!
- ⑥携帯電話を持ち、2人以上で作業しましょう!
- ⑦無理な作業はやめましょう!
(準備運動を忘れずに。休憩をとりながら)
- ⑧足場は特に注意!軒先は危険なので慎重に。

雪への準備・心構えは万全ですか?!

- ヘルメット**
あごひもを締めよう
- 防寒性 ゴム手袋**
- 安全帯**
幅広く 締められないもの
- ゴム長靴**
すべりにくい
- これが安全な服装です**
- 動きやすい服装**
厚着はダメ!
- 転落防止 必須アイテム**
命綱
すべりにくく
ゆるみにくい

シリーズ「むらやまの若人(わこうど)たち」

【大石田町地域おこし協力隊 大野達也さん・あかねさん】

Vol.71 “優しさ”に触れ、移住を決意

「大石田町のソトの、ヒト、モノ、コトが交流する場所」をコンセプトに3年前にオープンした「KOE no KURA (声の蔵)」に、地域おこし協力隊員2年目の大野達也さん、あかねさんご夫妻を訪ねました。

神奈川県出身の達也さんはお笑い芸人の過去を持ち、その経験を活かしてトークと映像で大石田町の特徴をYouTubeで発信しています。町民や町の出身者からは、「町内にあんな場所があったなんて初めて知った」「久しぶりに大石田町の映像を見て懐かしく感じた」等の声が聞かれたそうです。

山形市出身のあかねさんは現在二児の母で、子育て中の親を対象に、子ども服の交換会の開催や、子育てについて話し合える機会を設けたりと、親同士のつながりを深める活動を積極的に行っています。豊かな自然や低額の保育料、待機児童がないことなどの都会よりも子育てしやすい環境にある町の良さをSNSで発信することにも力を入れています。

移住する前年、「KOE no KURA」へ見学に来た時に近所の飲食店の方から「この町に来てくれてありがとう」と言われ、初対面なのになぜこんなに優しい言葉が言えるのだろうと感激し、移住を決意したご夫妻。「まず大石田町という地名を知ってほしい。知名度が上がれば、大石田町について検索する人が増え、来町者や移住者も増えるのでは」という願いから夫婦で情報を発信しています。

「優しさがたくさん感じられる大石田町に、地域おこし協力隊の任期後も住みたいですね」そばとブラジルコーヒーをブレンドした「そばコーヒー」の香りと町に寄せるお二人の思いが印象的でした。
(子ども家庭支援課 TEL:023-627-1153)



製造業が取り組む SDGsセミナー

開催

森づくりにおける 新型コロナウイルス対策に関する研修会



社会全体で環境、社会問題への関心が高まる中、国連が採択したSDGs（持続可能な開発目標）に注目が集まっています。こうした状況を踏まえ、1月22日（金）村山総合支庁において、ものづくり企業の経営者層を中心に約40名の御参加をいただき、「製造業が取り組むSDGsセミナー」を開催しました。

セミナーでは、SDGs推進の専門家から、17の目標についての具体的な解説とともに、取り組む効果やメリットについて説明いただき、企業がSDGsに取り組む必要性の理解を深めました。

また、(株)山本製作所から、現在の取り組みを紹介いただき、製造業の事業活動においても大変有益であることがわかりました。

今後も地域企業の発展に向けた環境づくりに全力で取り組んでまいります。

(地域産業経済課 TEL:023-621-8442)

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、多くの森づくり活動が縮小や中止を余儀なくされました。そこで県では、令和2年12月23日（水）に来年度の活動を計画している森づくり活動団体を対象に、今後も活動を続けて行くためのポイントや事例を学ぶ「森づくりにおける新型コロナウイルス対策に関する研修会」を開催しました。

研修会の参加者からは「今後の活動の参考となり、とても有意義だった。」と好評でした。また、参加者自ら予防対策を行って実施した活動内容や今後の活動方針について活発な意見交換も行われました。今後も県民の皆様とともに、森づくり活動を推進してまいります。

(森林整備課 TEL:023-621-8248)





木のあるオフィスのご提案

Vol. 1 オフィス家具編



打ち合わせテーブルとイス



ゴミ箱スツッカー



つい立て



掲示棚



木花



掲示板各種

木は様々な力を秘めています。そんな木で作った製品をオフィスに取り入れてみませんか？

- ・木材は手触りが良く、温もりがあり、衝撃を吸収し怪我を防止します
- ・木材の爽やかな香りは気分を落ち着かせます ※効能には個人差があります
- ・木材の利用は荒廃した森林の整備につながります
- ・木材の利用は炭素を固定し地球温暖化防止に寄与します
- ・木材は軽く丈夫で加工がしやすく、工夫次第でいろいろなものが作れます

(森林整備課 TEL:023-621-8284)

次回は「オフィス文具編」！！

アグリウーマン 交流セミナー



県では、若い女性農業者の経営感覚養成の一環として、平成28年度から「アグリウーマン塾」を実施しており、これまでの修了者は全県で64名を数えます。

今年度は村山地域全域のこれまでの修了者を対象に、12月11日（金）に「アグリウーマン交流セミナー」を開催しました。規模拡大等により雇用に取り組む農業者が多いことから、社会保険労務士の菊地仁士氏（東根市）を講師として労務管理の基礎について学ぶとともに、個々の課題や状況について事例発表を行いました。参加した11名の女性農業者同士、活発な意見交換を行うことで、交流も進みました。こうした取組をきっかけに、女性農業者の一層の活躍が期待されます。

(西村山農業技術普及課 TEL:0237-86-8248)

村山野菜づくり研修会

12月15日（火）、村山総合支庁本庁舎及び西村山・北村山地域振興局の3会場と講師の先生をオンラインで結び、「野菜づくり」をテーマに研修会を開催しました。

研修会の第1部では、東京農業大学名誉教授の後藤逸男氏を講師に迎え「土壌病害から見直す土づくり」と題して、病害に負けないための健康な土づくりのポイントについて講演をしていただきました。第2部では、村山総合支庁各農業技術普及課・産地研究室の活動事例として、きゅうり、えだまめ、すいか、スナップエンドウの現地実証や研究成果を紹介しました。

当日は大雪という悪天候の中でしたが、野菜生産者を中心に約70名が参加しました。今後も管内の野菜産地が持続的に発展していけるよう取組を進めます。

(農業技術普及課 TEL:023-621-8291)



Information From MuraSou

2021
3/13(Sat)
月山和紙雪洞(ぼんぼり)づくり
de LOVE STORY

月山和紙を使ったぼんぼりづくりで、楽しく交流して内々ませんか？初対面の方とのコミュニケーションが苦手な方でも、共通の体験を通して、会話が盛り上がりやすいです。

【日時】市営ほろひつり13日(土)午後2時～午後5時30分
【場所】天童最上川温泉ゆびあ(天童市大字藤内新田)
【参加費】無料(当日の受付料1000円) ※参加費は別途お支払いください。
【申込】お申し込みは、お申し込みの受付期間内(3/5)まで、お申し込みください。
【申込先】山形県村山総合支庁子ども家庭支援課 子育て支援・児童発達支援課
TEL:023-627-1151 FAX:023-627-1139
※要領が参加申込み書になっています。

「月山和紙雪洞(ぼんぼり)づくり de LOVE STORY」

に参加してみませんか？

むらやま広域婚活事業実行委員会では、「月山和紙雪洞(ぼんぼり)づくり de LOVE STORY」と題した男女の出会いのイベントを開催します。月山和紙を使ったぼんぼりづくりで、楽しく交流ができます。初対面の方との交流が苦手な方でも、共通の体験を通して、会話が盛り上がります。

日時：令和3年3月13日(土)午後2時～午後5時30分

場所：天童最上川温泉ゆびあ(天童市大字藤内新田)

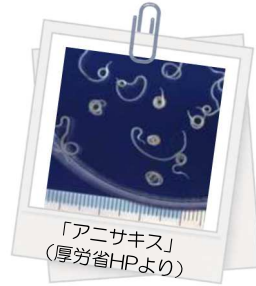
申込期限は3/5(金)になります。30～45歳の独身男女の皆様の参加をお待ちしています。詳細は事務局(子ども家庭支援課)までお問い合わせください。(子ども家庭支援課 TEL:023-627-1151)

アニサキスにご注意を！

生のお魚にはアニサキスが潜んでいる可能性があります！アニサキスが寄生している魚介類(カツオ、サバ、イカなど)を食べると、数時間から数十時間で激しい腹痛やおう吐などの症状を伴う食中毒を引き起こす場合があります。

予防には、調理時の目視による除去及び加熱(60℃・1分以上)や冷凍(-20℃・24時間以上)が有効です。十分に注意して毎日のお食事を楽しみましょう！

(生活衛生課 TEL:023-627-1187)



3月1日～3月8日は「女性の健康週間」です

女性の心身の健康は、ホルモンの影響を大きく受けるため、思春期、妊娠・出産期、更年期、高齢期といったライフステージごとに大きく変化するという特徴があります。家庭や仕事で忙しいからと“自分のことは後回し”になっていませんか？この機会に、自分の健康を見つめてみましょう。

(地域健康福祉課 TEL:023-627-1183)

【若い女性】

若い時の生活習慣が後々の健康につながります。栄養バランスの良い食事、運動を心がけましょう。また、月経困難症や月経前症候群など月経に関する不調を感じている方も多くと言われています。ひとりで我慢せずに受診しましょう。

【更年期以降の女性】

女性ホルモンの減少により体調が変化します。骨粗鬆症や高脂血症などのリスクが増加します。これまでの健診で異常が無かった方も注意が必要です。また、太りすぎだけでなく、高齢期の虚弱につながる痩せにも注意が必要になってきます。

【賞品(一例)】

※写真はイメージです。実際の賞品と違う場合があります。



「仙台となり村(山形県北村山地域 | 村山市・東根市・尾花沢市・大石田町)」

周遊観光クイズラリー

クイズに答えて
素敵な賞品を
もらおう!!

仙台
となり村
東根 大石田 中山

応募締め切り 令和3年3月10日(水)

北村山地域連携推進研究会(村山総合支庁・村山市・東根市・尾花沢市・大石田町で構成)では、クイズを解きながら、北村山地域をバーチャルに周遊する「仙台となり村周遊観光クイズラリー」を開催しています！正解者の中から抽選で、ペア宿泊券や雪降り和牛などステキな北村山地域ゆかりの賞品が当たります！ぜひご応募ください！詳しくは、下記URL又はQRコードから「仙台となり村ホームページ」をご覧ください。【応募期限：令和3年3月10日(水)まで】

(北村山総務課 TEL:0237-47-8614)

https://sendai-tonari.com/quiz_rally



新しい生活様式

実践例

(1)一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空ける
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。
ただし、夏場は、熱中症に十分注意する
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う
人混みの多い場所に行った場合は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う(手指消毒薬の使用も可)
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする



移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリも活用
- 地域の感染状況に注意する



(2)日常生活を営む上での基本的生活様式

- こまめに手洗い・手指消毒
- 咳エチケットの徹底
- こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に)
- 身体的距離の確保
- 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝、体温測定・健康チェック。
発熱または風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3)日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいている時間に
- 電子決済の利用
- 計画を立てて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース



公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する



娯楽、スポーツ等

- 公園はすいている時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン



食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも活用
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座る
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて



イベント等への参加

- 接触確認アプリを活用
- 発熱または風邪の症状がある場合は参加しない



(4)働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務
- オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン
- 時差通勤でゆったりと
- 対面での打合せ時は換気とマスク着用



◆事業者の皆様は、関係団体が策定した業種ごとの「感染拡大予防ガイドライン」に基づく感染防止対策を徹底していただきますようお願いいたします。

このページは手元に置いてご活用ください

◎県のHPでは新型コロナウイルス感染症についての情報をまとめています。
右のQRコードを読み取り、ぜひご覧ください。



コロナ差別ノー！宣言

私たちは、私たちの生活を支えている方々への感謝の気持ちを忘れず、あたたかい思いやりの心をもって、差別や誹謗中傷のない山形県づくりに取り組んでいくことを宣言します。

- 1 私たちは、感染者や医療従事者、その家族等への差別や誹謗中傷は決して行いません。
- 2 私たちは、医療従事者をはじめとした、県民生活を支えている方々に感謝し応援します。
- 3 私たちは、県民一人ひとりが思いやりの心を持ち、一丸となってコロナを乗り越えていきます。

令和2年12月24日

山形県





さくらんぼ：生産量で全国 1 位を誇る山形を代表する果物です。



蔵王温泉スキー場：樹氷を見ながら滑ることのできる、全国でも珍しいスキー場です。



ラ・フランス狩り：畑で固い実をもぎとり、完熟させて芳醇な香りの実を味わいます。



想いをカタチに。

山形県

ふるさと納税



銀山温泉：木造多層の旅館が軒を連ねる、大正ロマンあふれる温泉街です。



紅花：7 月上旬頃に可愛らしい花が咲きます。



天童温泉の書き駒体験：熟練の駒職人の指導のもと、将棋駒の文字入れを体験できます。



山形花笠まつり：笠を手にした踊り手が、花笠音頭に合わせて優雅に踊りを披露します。



米沢織：江戸時代に藩主上杉鷹山の産業奨励により始まった織物です。



だだちゃ豆：栽培に適していない土地だと味が落ちてしまうという風味豊かな枝豆です。



山形県にふるさと納税のご協力をお願いします。

スマートフォン・パソコンでお申込み

ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」へアクセスし、お申込みください。



QRコード

電話でお申込み

下記のコールセンターへ御連絡ください。
JTB ふるぽ(ふるさと納税)コールセンター
☎ 0570-666-532 10:00~17:00 年中無休(1/1~3 を除く)



ふるさと納税の趣旨

地方で生まれ、保育や教育など公共サービスをはじめ地域の支援を受けて育った多くの若者が、進学や就職をきっかけとして大都市に移り住み、そこで社会人として生活し納税しています。世代を通してみると、地方と大都市の間の租税負担と行政サービスのバランスは大きく崩れています。こうした状況の中、「自分を育ててくれたふるさとに恩返しをしたい」、「自分の応援する地域に貢献したい」という想いを寄附と税制によって実現させる仕組みがふるさと納税制度です。

制度の趣旨を御理解くださり、ふるさと納税を活用して山形県を応援して下さるようお願いいたします。



寄附金の使い道

ふるさと納税を通して寄せられた寄附金は、子育て支援や多彩に活躍する人づくり、安全安心な社会構築、活力ある産業の集積、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業、「観光立県山形」の確立、災害に強い県土基盤の形成などに活用され、山形県の発展のために役立てられています。



魅力いっぱいの返礼品

山形県は、つや姫・雪若丸などの県産米、数々の受賞歴を持つ日本酒、米沢牛、さくらんぼをはじめとした果物など、食の宝庫です。また、全市町村に温泉が湧く温泉王国でもあります。おいしさいっぱい、魅力いっぱいの返礼品をお楽しみください。

果物



初夏

夏

秋

初冬

県産米



米沢牛



日本酒・ワイン



温泉

ほかにも、魅力的な返礼品が常時500種類以上。ふるさと納税で、山形の旬を感じてください。



使途明示型ふるさと納税

寄附金を特定の事業に活用する「**使途明示型ふるさと納税**」の募集も行っております。

- ・「山形県総合文化芸術館」整備事業
- ・山形の人づくり！産業高校応援プロジェクト
- ・子どもの居場所づくり応援事業
- ・山形県公立大学法人学寮環境整備事業
- ・「日本一美食・美酒県」フェア開催事業
- ・医療的ケアを必要とする子どもとご家族に対する支援事業
- ・山形県立図書館サービス向上事業
- ・やまがた防災力向上推進事業
- ・私立高校生の修学支援事業
- ・はやぶさ KIDS 育成支援事業
- ・農林業専門職大学等キャンパス整備事業



お問い合わせは...

山形県 産業労働部 商業・県産品振興課 ☎ 023-630-2551
E-mail: yamagata-oen@pref.yamagata.jp



メールアドレス
QRコード